

一中学生徒の最善最高の自覚と実践 NO11(R5.1.13)

○校長より 『新年を迎えて』

保護者・地域の方々におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと存じます。また、新しい年となり、生徒たちも各自それぞれの目標に向け決意を新たにしたことだと思います。私たち一中職員も気持ちを新たにし、本年度の締めくくりをしっかりとしていきたいと考えています。昨年11月1日の「心のきずなを深める生徒集会」において、「みんなが笑顔で安心して過ごせる学校」を目指すことを生徒たちに伝えました。その目指す学校づくりのため、先生方から生徒たちに「あいさつ」することから取り組みはじめていたところですが、まだまだ目指す学校には届いていないのが現状です。

しかし、明るい展望もあります。校内において、「自分からあいさつする」生徒も増えてきていることです。また、学校を良くしようという思いをもって生徒会役員に立候補してくれた生徒がたくさんいたことです。目指す学校づくりは、先生たちの頑張りだけではできません。なにより生徒たちの思い・頑張りがなければ絶対なし得ないことだと思います。先生たちと生徒たち一緒になって取り組んで、少しずつ少しずつ目指す学校に近づいていけたらと考えています。そして、さらに申し上げるならば、目指す学校づくりには保護者の方々・地域の方々のご支援ご協力が必要です。何より、私たち一中職員を信頼していただければ幸いです。保護者・地域・学校の信頼関係のもと、生徒たちが見守られ成長できる学校でありたいと思っています。至らぬところも多いとは存じますが、信頼していただける学校になるよう精一杯頑張ってお参りますので、どうかよろしくお願いたします。

「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われるように、三学期はあっという間だと思います。一日一日を大切に、どうしたら目標とする学校に近づけるか精一杯知恵を絞りながら教育活動に取り組んでいきますので、今年もよろしくお願いたします。

☆最善最高の自覚

『3学期スタート！始業式！！』



☆最善最高の実践

『おはようございます！あいさつで元気を！！』

